

「神経難病リハビリセンター」では、  
介護職として、介護福祉士が10名、メディカルアシスタントが1名、  
入浴専門スタッフが3名、合計14名のスタッフが働いています。

介護の専門職として、患者さまやそのご家族が安心して過ごすことができ、そして、少しでも楽しみがあり、その人らしく、生きる喜びをもてるような生活支援を目指しています！

2010年度、介護福祉士2名で、発声や文字盤といった当院での通常のコミュニケーション方法が困難であった患者様とのコミュニケーション手段を検討した取り組みを「透明文字盤を拒否したALS患者へのAAC(代替意志伝達手段)導入の試み」としてまとめ関連病院内で共有しました。

日々の介護のケアを通し、患者さまは私たちにたくさんのことを気付かせ教えてくださいます。これからも心の通じ合うコミュニケーションが実現できるよう患者さまと向き合いつつ、病棟のビジョンである「生きる力に寄り添う看護・介護」を目指し、笑顔で思いやりのある介護ケアの提供に努めていきます！

このテーマに取り組んだきっかけは「なんとかしたい！」という単純な思いからでしたが、それにより患者さまの気持ちを少しでも汲みとるきっかけができたことが、なにより嬉しいです。  
介護福祉士：浮田稔



【取り組みを発表した介護福祉士】

患者さまに接する、その時その時を大切に、そんな関わりができればと思います。  
介護福祉士：寺地生孝

### 8月のレクリエーション

夏といえば「祭」ですよね。8月は鶴巻温泉病院の「本館合同夏祭り」を開催しました。  
スイカ割り、たこ焼き、焼きそば、かき氷、ヨーヨーなどなど・・・

「今年は暑いから、かき氷が人気だろうね～」と予想していたのですが、当日はあいにく天気が悪く、焼きそばのほうが好評でした。患者さま・ご家族の方と一緒に楽しむことができ、ニコニコ笑顔がたくさん見られた1日でした！



【みんなでスイカを食べました！】

2階東病棟 介護福祉士：木村由紀